

◆千代田銀行(旧住友銀行)1973年、北海道生まれ「Jトラスト」副社長(兼任)、「Jトラスト」ファイナンシャルサービス部長(兼任)。平成13年、東洋フィナンシャルグループ(旧三井住友銀行)に入社。その後、三井住友銀行(旧三井銀行)の「Jトラスト」副社長、三井住友銀行(旧三井銀行)の「Jトラスト」副社長、三井住友銀行(旧三井銀行)の「Jトラスト」副社長に就任。平成21年の10月には、この「Jトラスト」の「Jトラスト」副社長に就任。



今月18日 から改正貸金業法が完全施行される。総量規制によって、年収の3分の1を超える借入れが禁止されるわけだが、これによって消費はさらに鈍り、不況の出口はますます遠ざかってしまうのは必至。とくに深刻なのは、銀行の貸し流りで資金の調達に苦慮している中小企業のオーナーや個人事業主である。この苦境を乗り切り、未曾有の不景気をチャンスに変えるにはどうすればいいのか。ホールディングカンパニーの上場企業、Jトラストの副社長で、グループ企業のJトラストファイナンシャルサービスの社長でもある千葉信育氏に聞いた。

「日本を元気にしよう!」
というテーマに取り組み

「我々Jトラストは、グーといる。企業が元気に。ループを挙げて『日本を元気に』、日本の元気は元気にしよう!」という。みがあるんです」と、千代田銀行の副社長、千葉信育氏。では、企業が元気に。こまで落ち込んだ理由。では、企業が元気に。いろいろなありますが、日。本を元気にするには、何。金融機関に、まず元気より中小企業をはじめと。なるに、どうすればいい。にする。ビジネスを展開し。が企業や個人に融資する。は、ノンバンク業界の良。なるの。です。」



「Jトラスト」副社長
千葉信育氏に聞く

「予想されているさらなる不況を乗り越えるために、我々がしっかり応援、サポートしていきたいと思います」

企業が元気に。なれば……
の境界がありますし、ミドルリスクの層に対して融資するノウハウを持つていません。つまり、銀行に、従来のノンバンクが担ってきた分野の事業を積極的にやってみようという。でも、簡単にできることではないんです。資金繰りに困り、疲弊している中小企業に元。最大限に活用していただくことがキーポイントになるの。です。」

7・3兆円規模ともいわれる消費 者金融市場が崩壊すれば……

ノンバンクが激減し、銀行もなかなか融資してくれない。7・3兆円規模ともいわれている消費者金融市場が崩壊すれば、犠牲になるのは、中小零細事業者や、そこで働く人たちが、さらには、困った時にはお金を借りて生活をやりくりしている我々消費者なのだ。このままでは、日本の元気はますますしぼんでいくばかり。得策はないのだろうか。

事業者の資金繰りの支援部隊 「Jトラストファイナンシャルサービス」

「事業者向け手形割引などを積極的に行っていきます」
「Jトラストは、総合金融サービスの中で、事業者の資金繰りの支援部隊となるのが「Jトラストファイナンシャルサービス」である。

「信用保証事業が、これから大きな役割を果たしていくのではないのでしょうか。中小企業を応援する「ノンバンク」が少なくなっている今、生き残って



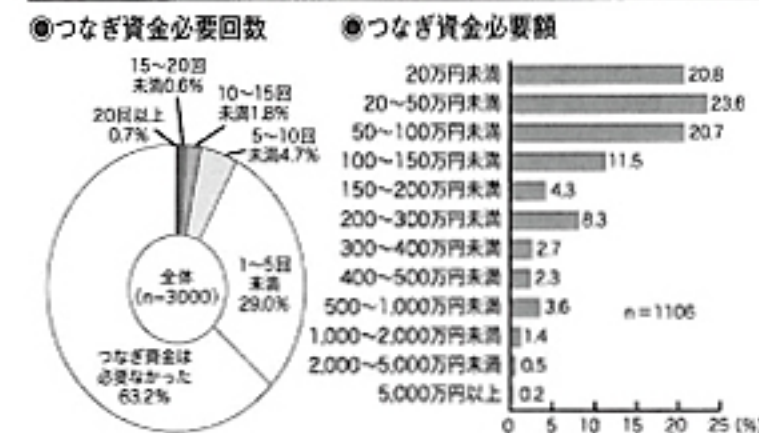
「返済できるプランをしっかりと立てること」と千葉副社長

5.39~15%の低金利で借りられる「不動産担保ローン」

15%の低金利で借りることができ、本人の我々は、どうも不安になるものです。大切なのは、使い方を間違えないこと。きちんと返済できるプランをしっかりと立てることができれば、資産・財産を存分に活用して、資金に流動性を持たせることができるのは、企業にとって、とてもメリットのあることだと思

「いかなる時も迅速に対応する」という理念で結束!!

零細事業者のつなぎ資金 調査/地域経済活性化研究会



銀行で借入れが出来、利も年率3・9~15%。な。無担保でノンバンクに融資してもらって、以外費用が掛からないという企業も少なくない。と評判を呼んでいる。だが、「できるだけ金利。いかなる時も迅速に対応する、ということも。あるいは手形割引。我々の理念のひとつ。引の分野を上手に活用。アイナシナルアドバイスを。お任せします。」「千葉副社長はアドバイスを。お任せします。」「不動産担保ローンは、貸。の査定によって10億。円までの融資が可能。返。期間も最長20年で組。むことが出来る。また、「手形割引」の金。用することなのか。